



 Class 1, Division 2, Groups A, B, C, and D Hazardous Locations.



Modbus マスター/スレーブ通信モジュール MVI56-MCM

Modbus 通信モジュールは様々な産業界、アプリケーションで使用されています：

- 外部機器データ収集装置
- パイプラインと海上プラットフォーム
- 食品加工
- 鉱業
- 紙パルプ
- SCADA コミュニケーション

販売およびサポート

ProSoft Technology® は全製品に対するテクニカルサポートを提供しています。電話、電子メールより下記のグローバル・テクニカル・サポート・チームと連絡出来ます。

アジア・太平洋

+603.7724.2080, asiapc@prosoft-technology.com
対応言語：日本語、英語、中国語とマレー語

ヨーロッパ 中東 - アフリカ

+33 (0) 5.34.36.87.20, support.EMEA@prosoft-technology.com
対応言語：フランス語と英語

北アメリカ

+1.661.716.5100, support@prosoft-technology.com
Languages spoken include: スペイン語と英語

ラテンアメリカ (販売のみ)

+1.281.298.9109, latinam@prosoft-technology.com
対応言語：スペイン語と英語

ブラジル

+55-11.5084.5178, eduardo@prosoft-technology.com
対応言語：ポルトガル語と英語

Modbus マスター/スレーブ通信モジュール

MVI56-MCM

MVI56 Modbus マスター/スレーブ通信モジュールはロックウェルオートメーションの ControlLogix と他の Modbus 対応デバイスとの通信を可能にします。対応するデバイスは Modicon の PLC (Modbus プロトコルをサポートします) 以外に、幅広い種類の装置も含めます。このモジュールは Modbus ネットワークと ControlLogix バックプレーン間の入出力モジュールとして機能します。ControlLogix プロセッサからのデータ転送は Modbus ネットワークの動作とは非同期となります。モジュール内の 5000 ワード・レジスタ・スペースがプロセッサと Modbus ネットワーク間でデータ交換されます。

特徴および利点

MVI56-MCM Modbus マスター/スレーブ通信モジュールは ControlLogix と Modbus プロトコル対応デバイス(及びホスト)との通信を可能にします。

多くのホスト SCADA パッケージが Modbus プロトコルをサポートしています。また、一般に市場にある様々な PLC 及びサードパーティデバイスが Modbus プロトコルをサポートしています。(Modbus 通信デバイスについては ProSoft Technology ウェブサイト上の ProSoft Tested を参考にしてください)

一般仕様

- シングル・スロット - 1756 バックプレーンと互換性を持つ。
- ローカルまたはリモート・ラックで使用可能。
- 入出力モジュールと認識され、プロセッサとモジュール間のデータ転送のため、プロセッサメモリへアクセスします。
- ラダーロジックによりモジュールとプロセッサ間のデータ転送が行われます。
- 設定データはユーザ定義ラダーから得られます。サンプルラダーが同梱されています。

ハードウェア仕様

仕様	記述
バックプレーン 電流負荷	800 mA @ 5 V
使用温度	0°C ~ 60°C (32°F ~ 140°F)
保存温度	-40°C ~ 85°C (-40°F ~ 185°F)
衝撃:	30g (操作時) 50g (非操作時) 振動: 5 g (10 Hz ~ 150 Hz)
相対湿度	5% ~ 95% (非凝縮)
LED 表示:	モジュールステータス バックプレーン転送ステータス アプリケーションステータス シリアル状態

デバッグ/設定ポート (CFG)

CFG ポート (CFG)	RJ45 (付属ケーブルとの DB-9M) RS-232
---------------	---------------------------------

アプリケーション・ポート (PRT1 & PRT2)

完全なハードウェアによるハンドシェイキング、ラジオ、モデムおよびマルチ・ドロップのサポートを提供すること

ソフトウェアで設定する通信パラメータ	ボーレート: 110 ~ 115,200 ボー, プロトコルによる RS-232, 485 と 422 パリティ: なし、偶数または奇数 データ・ビット: 5, 6, 7 または 8 ストップ・ビット: 1 または 2 RTS on/off 遅延: 0 ~ 65535 ms
アプリケーション・ポート (P1,P2) (シリアル・モジュール)	RJ45 (付属ケーブルとの DB-9M) RS-232 ハンドシェイキング設定 バックプレーンから 500V 光分離
付属品	各ポートのための RJ45 - DB-9M ケーブル 6-フィート RS-232 設定ケーブル

機能仕様

- ControlLogix プロセッサのデータファイルに入出する 5000 レジスタの保存と転送をサポートします。
- 完全なユーザ定義モジュールメモリ使用量。
- 独立する 2 つの Modbus マスター/スレーブポート。
- 浮動小数点の転送のために、Enron バージョンの Modbus プロトコルをサポートします。

スレーブ仕様

MVI56-MCM モジュールは Modbus マスターユニットからの Modbus コマンド(ファンクションコード) 1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 15, 16, 17, 22, 23 に対応します。Modbus スレーブに設定されたポートはマスターモジュールと全データ

の通信を可能にします。このデータはマスターポートまたは ControlLogix プロセッサを通じてネットワーク上の他の Modbus スレーブデバイスから得られます。

マスター仕様

MVI56-MCM モジュールで仮想 Modbus マスターデバイスとして設定されたポートは Modbus ネットワーク上にある他のノードに Modbus コマンドを送信します。各ポートは 100 個のコマンドをサポートします。また、マスターポートは通信問題のあるスレーブに対してポーリング頻度を制限する最適化ポーリング特性を持ちます。

ControlLogix プロセッサはプログラムによりポートを制御出来ます。これはコマンドリストからコマンドを選択し実行するか、またはラダーロジックから直接にコマンドを発行することで可能になります。

追加情報

ProSoft Technology は様々な工業コミュニケーション・プラットフォームのためのハードウェアおよびソフトウェアソリューションを提供します。

他の inRAX 製品:

全ての製品リストは下記サイトで確認して下さい:

<http://www.prosoft-technology.com>

注文案内

この製品を発注するために、ProSoft Technology の代理店に連絡してください。

MVI56-MCM

Modbus Master/Slave
Communication Module

ProSoft Technology の代理店リストは下記のサイトで確認して下さい:

<http://www.prosoft-technology.com>

日本担当:

Alan Fam (エレン・ファム)

事業開発マネージャー

E-mail afam@prosoft-technology.com

Mobile +6012.604.1183

Tel +603.7724.2080

Fax +603.7724.2090

アジア・太平洋

+603.7724.2080, asiapc@prosoft-technology.com

対応言語: 日本語、英語、中国語とマレー語